

年次別自殺者数

厚生労働省の人口動態統計によると、全国では、平成10年に自殺者が3万人を超えて以来、毎年3万人前後で推移していました。平成22年以降は減少傾向を続けており、令和7年は18,518人となっています。本市の令和7年の自殺者数は171人であり、前年より28人増加しています。

年次	千葉市	千葉県	全国
平成10年	179人	1223人	31755人
平成11年	182人	1229人	31413人
平成12年	163人	1269人	30251人
平成13年	164人	1160人	29375人
平成14年	176人	1212人	29949人
平成15年	155人	1326人	32109人
平成16年	179人	1231人	30247人
平成17年	198人	1318人	30553人
平成18年	183人	1290人	29921人
平成19年	169人	1294人	30827人
平成20年	169人	1258人	30229人
平成21年	161人	1326人	30707人
平成22年	220人	1329人	29554人
平成23年	182人	1370人	28896人
平成24年	175人	1215人	26433人
平成25年	182人	1217人	26063人
平成26年	169人	1215人	24417人
平成27年	189人	1182人	23152人
平成28年	133人	1026人	21017人
平成29年	146人	990人	20465人
平成30年	134人	1029人	20031人
令和1年	170人	983人	19425人
令和2年	154人	1050人	20243人
令和3年	149人	977人	20282人
令和4年	164人	1018人	21238人
令和5年	148人	1023人	21016人
令和6年	143人	927人	19594人
令和7年	171人	962人	18518人

(引用元 厚生労働省 人口動態統計)

自殺統計と人口動態統計の違いについて

1) 日本における外国人の取扱いの差異
「自殺統計」は、日本における日本人及び日本における外国人の自殺者数としているのに対し、「人口動態統計」は日本における日本人のみの自殺者数としています。

2) 調査時点の差異
「自殺統計」は、捜査等により、自殺であると判明した時点で、自殺統計原票を作成し、計上しているのに対し、「人口動態統計」は自殺、他殺あるいは事故死のいずれか不明のときは原因不明の死亡等で処理しており、後日原因が判明し、死亡診断書等の作成者から自殺の旨訂正報告があった場合には、遡って自殺に計上しています。

3) 計上地点の差異
「自殺統計」は、発見地に計上しているのに対し、「人口動態統計」は、住所地に計上しています。

